

コロナと感染症法改悪の問題点

講師 **五島真理為**

医療カウンセラー
元 HIV と人権・情報センター理事長

講師 **新庄文明**

元大阪大学医学部教員・
前長崎大学教員

(この公開講座は定員・予約制です)

疾病対策の原則は何より早期発見と早期対処であるのに、わが国の「コロナ」対策に特徴的なのは、検査を抑制し、それが市中感染の可能性を拡大し、ひいては医療崩壊を促している。可能な限り事実を隠ぺいして、感染症対策の誤りにたいする内外の批判をかわそうとするわが国の姿勢は、ハンセン病やHIV/AIDSに対する姿勢以降、今日まで一貫している。

一方、事実を隠ぺいしたまま煽られる恐怖の中で、無知が疾病への差別を生み、恐怖が患者にたいする差別を助長する。誰でも感染し発症する可能性があり、誰もが当事者である今日の感染症にたいして、全ての人が当事者と自覚すれば差別は生じない。

感染症法をめぐる動きを踏まえつつ、大衆運動として感染症に対するたたかひの方向を考えたいと思う。

2021年 **7月17日** 土

開始 午後1時30分～ **終了** 4時30分 (開場・受付開始 午後1時15分～)

会場 連合会館401会議室

参加費 1500円 (学生1000円)

定員 40名 (参加希望者は、下記連絡先に予約してください)

主催 HOWS (本郷文化フォーラムワーカーズスクール)

連絡先 TEL: 03 (5804) 1656 / FAX: 03 (5804) 1609
メールアドレス: hows@dream.ocn.ne.jp

後援 壊憲NO!96条改悪反対連絡会議

ごとうまりい 五島真理為

難病患者として1975年以降、ベーチエット病友の会大阪府支部の設立や大阪難病連代表委員、全国患者家族集全国代表理事などを務め、エイズが社会問題化した1989年以降は「HIVと人権・情報センター」の専任カウンセラー、理事長などを務め、薬害エイズ裁判支援にも携わった。現在も医療カウンセラー、スピリチュアルケア師として全国各地の支援活動を続け、2019年に保健文化賞を受賞。差別と人権に関わる視点から、現下のコロナ禍でも、感染症対策の基本である検査を意図的に避ける政府を批判する。

五島真理為さんの著書

『いのち、響きあってー病気や障害は来た道、行く道』『AIDSをどう教えるか』（いずれも解放出版社）ほか

しんしょうふみあき 新庄文明

大阪大学医学部・長崎大学教員の時期は、厚生省「健康日本21」策定委員や厚労省介護予防サービス評価委員会委員として、主に歯科保健分野の保健事業や介護予防対策の立案に携わった。また日本公衆衛生学会理事、日本エイズ学会理事、日本歯科医師会委員などとして感染症対策に関わるほか「HIVと人権・情報センター」の活動を支えてきた。

新庄文明さんの著書

『成人歯科保健』（医歯薬出版）、『エイズ対策ー理解と実践のすべてー』（共著/東京法規出版）ほか

注意事項

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用してご参加ください。

また発熱や体調がすぐれない方は参加を控えてください。

なお、会場はコロナ対策のために、定員40名の予約制にしています。定員を超えると入場できなくなることをあらかじめご承知ください。

また、報告者のお二人は関西地方から来られますが、コロナ感染症の拡大状況により、上京できない場合があります。参加を希望される方は、事前に主催者側に電話でご確認ください。

会場案内

連合会館401会議室

(旧・総評会館)

●地下鉄

東京メトロ千代田線

「新御茶ノ水駅」 B3出口 (徒歩0分)

東京メトロ丸ノ内線

「淡路町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄新宿線

「小川町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩3分)

丸ノ内線/新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ

※ B3a・B3b 出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

●JR

JR 中央線・総武線

「御茶ノ水駅」 聖橋口 (徒歩5分)

